



くらしの相談

担当者レポート

第6号

豊田市議会議員

武田かずお

発行日：令和6年10月30日
発行所：トヨタ自動車労働組合
発行人：近藤 大輔
編集者：武田 一夫
印刷所：(株)トヨタエンタプライズ

～公約の進捗状況～

*進捗状況：100%:実現、75%:実現に向け実行中、50%:実現に向け計画中、25%:調査中、0%:動きなし

大分類	取り組みテーマ	テーマに対する取組内容	進捗状況
I. 安全なまちづくり 	政策要望でプッシュ ① 交通安全対策の推進	・ゾーン30プラス推進 (R6年度～順次実施予定) ・安全運転支援システム構築推進	75%
	② 防犯対策の推進	・防犯カメラ設置促進 (R6年度実施予定)	75%
	③ 防災対策の推進 一般質問でプッシュ	・マイタイムラインシートデジタル化推進 (R6年度実施予定) ・防災土育成支援充実 (R6年度実施予定)	75%
II. 安心なまちづくり 	政策要望でプッシュ ① 公共交通整備の促進	・地域、時流に適した地域公共交通の見直し促進 ・交通結節点整備推進	50%
	一般質問でプッシュ ② 超高齢化社会対策の推進	・福祉介護窓口スマート化推進 ・認知症支援施策充実 ・相談窓口周知促進	75%
	③ 教育環境の充実	・休日部活動地域移行推進 ・体育館の墨さ対策推進 (R6、7年度実施予定)	75%
	④ 子育て支援の充実	・保育環境の充実 ・児童精神医療体制強化	50%
III. 元気なまちづくり 	政策要望でプッシュ ① 産業の活性化	・個人商店活性化推進 ・中小企業支援人材確保支援強化 ・C/N取組支援強化	50%
	② スポーツ環境の充実 政策要望でプッシュ	・市内スポーツ施設整備推進 ・部活指導者人材バンク構築	25%
	③ 集いの場整備の促進 政策要望でプッシュ	・子ども食堂運営支援拡充 ・新博物館利活用推進 ・ラリーを生かしたイベント開催拡大	75%

トヨタ自動車労働組合HP
カバネット

ID : KABA
PASS : 2019

<https://www.kabanet.org/>



くらしの相談
検索システム

<https://consultation-of-living.appspot.com/>



日々の活動など
投稿しております
フォローをお願い
いたします

https://www.instagram.com/takeda_r5/?r=nametag



～9月定例議会～

「一般質問 登壇」



インクルーシブ複合遊具



健康寿命延伸、「健康づくりの取組」について質問しました。



豊田市ではこれまで「健康増進計画」を策定し、健康増進の取組を進めてきましたが、本年3月に「健康増進計画」「食育推進計画」「自殺対策計画」の3計画を包含した「健康づくり豊田21計画」を策定しました。近年、豊田市の平均寿命、健康寿命は共に向上傾向にあるものの、その差はほぼ変化していないことから、高齢化の進む中、全ての人が生涯にわたり健やかな人生を全うできるように、現在の健康づくりの取組について計画の基本目標に沿って提案も交えながら質問しました。提案としては最近では認知症の発症時期も予測できる脳ドック検診への助成拡充と身近な体を動かせる場所として身近な公園・広場へのインクルーシブ遊具の設置及びその周辺歩道の整備を訴えました。

～トピックス～ 「令和7年度に向けた政策要望」を市長へ提出。



私の所属する会派「市民フォーラム」（組合系議員9名で構成）で作成した「令和7年度に向けた政策要望」書を8月26日に豊田市太田市長に提出しました。要望書では、25のカテゴリーで33項目の具体的な要望を、本市がかかえる社会的課題に対して市民の想いを形にする部局横断的な政策内容として私たちの上部団体の政策指針4つの柱を軸にまとめました。

- ・公共交通の維持に向けた人材確保支援
- ・高齢者の移動支援
- ・水素発電設備の導入に関する支援
- ・避難所開設における規定の改定
- ・病児保育の受入れ対応の緩和
- ・人で賑わう駅前広場の活用
- ・放課後児童クラブの全学年受入れに向けた環境整備・・・など33項目



「その他の活動」 ボランティア参加をはじめ、様々な組合活動にも取り組んでいます。



～市政情報～



「放課後児童クラブの受入れ枠拡大」

これまで原則1年生～4年生までの児童が対象の放課後児童クラブが、令和7年度から5、6年生まで対象が拡大され全学年の児童が受入れ可能となります。両立支援や女性活躍の観点からも、これまででも多くの方からの声もいただいており、私たち市民フォーラムでも市長に要望書を提出するなど取組んできましたがこの度、実現することとなりました。

「世界ラリー選手権(WRC)日本大会継続開催を締結(令和8年～令和10年)」

～WRCで豊田をラリーの聖地に！～

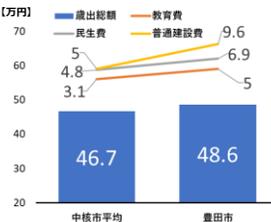
「クルマのまち」豊田市として、市内のまちづくりを永続的に発展させていくには、産業の活性化は欠かせません。自動車関連企業が多い豊田市にとって自動車産業の活性化につながる、車ファンやモータースポーツファンの拡大は税収増の側面からも重要な取組となります。

【WRC継続開催の意義】

- ・日本にラリー文化を定着させる
- ・車に興味関心を持つ人を増やす
- ・自動車産業に携わる人材の育成
- ・山村地域の活性化
- ・ラリーを通じた交通安全啓蒙
- ・市内産業の活性化（賑わい創出）



豊田市が市民一人当たりを使う市費は中核市の中では1位と高い水準であること。また、現在の市債・基金残高を含む財政状況において市民サービス水準低下や、事業削減することなく開催出来ることを議会で確認しました。



～くらしの相談～ 御内平県道支障木伐採

県道沿いの桜の木が、老木化し枝が車道に落ち事故につながるなどの相談を受けました。県道を管理する、豊田加茂建設事務所に老木の伐採と健康木の枝打ちをしていただきました。



老木の伐採をしました



～ご提案ありがとうございました～